

## ○ 委員長報告

9月定例本会議で報告された農林水産委員長報告は、以下のとおりです。

令和2年9月定例会

### 農林水産委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、アコヤガイのへい死状況と真珠生産者への支援についてであります。

このことについて一部の委員から、今年度のアコヤガイの被害と原因究明の進捗状況、新型コロナの影響を受けている真珠生産者への支援にどのように取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、三重県で6月にへい死が発生した後、本県でも一部地域で稚貝を中心にへい死が発生したが、昨年度のような深刻な稚貝不足には至っていない。

原因究明については、未だ特定に至っていないが、異常発生前からの綿密な環境調査に加え、今年度は感染試験なども精力的に行い、国の機関等と連携して検証している段階である。

また、今年度の真珠入札会は、新型コロナの影響で開催の見通しが立っておらず、生産者の収入に大きく影響すると懸念しており、農林漁業セーフティネット資金に係るコロナ特例措置の延長等について国へ要望したいと考えている旨の答弁がありました。

第2点は、かんきつ類の生産状況とみかんアルバイトの確保についてであります。

このことについて一部の委員から、本年産かんきつ類の生産状況と販売の見通しはどうか。また、コロナ禍におけるみかんアルバイトの確保にどのように取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、生産予想量は8月1日現在、かんきつ類全体で前年比96%であり、品質は平年並みとなっている。極早生温州の販売状況は、京浜市場の販売単価で、前年比110%の1キロ当たり308円となっており、この好調な出足を維持できるよう努めたい。また、八幡浜地域におけるみかんアルバイトについては、現時点で昨年の約6割を確保できており、さらに増員を目

指していると聞いている。

J Aも収穫時期直前まで募集活動を継続するほか、県の補助事業を活用して宿泊施設の改修を進めており、県としても、収穫が滞りなく行われるよう支援していきたい旨の答弁がありました。

第3点は、県産農産物の販売促進に係る取組みについてであります。

このことについて一部の委員から、コロナ禍で対面方式での販売促進活動が難しくなる中、県産農産物販売促進モデル事業にどう取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、この事業は、新しい生活様式に対応した、オンラインとリアルによる愛媛型の販売モデルの構築を目指すものである。

オンラインイベントについては、11月から12月の1か月間、出展者がECサイトを開設して販売を行うほか、消費者がバーチャルで県内産直市を巡るデジタルマップなどの企画を盛り込むこととしている。

また、リアルイベントについては、オンラインイベント開催期間中の2日間、感染防止対策に最大限留意した中で開催することとしており、両イベントの課題等を抽出・検証し、市町等へフィードバックすることで、県内への波及を図りたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・「ひめの凜」の生産状況
- ・ため池の管理
- ・海外への販路拡大に向けた大手小売業者との連携
- ・CLTの需要拡大
- ・鳥獣害対策の状況

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。